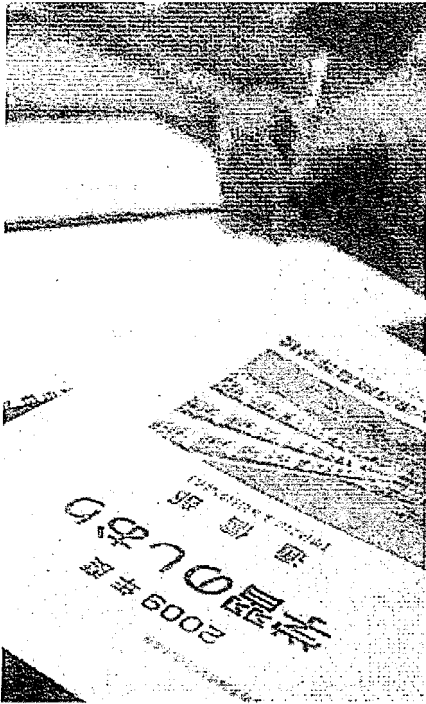


薬物依存から回復

高校入学“4度目の正直”

大津市にある薬物依存回復施設「びわこダルク」で断薬治療を続ける愛知県出身の男性、ユウキさん(28)＝通称Ⅱが今春、通信制の滋賀県立大津清陵高校普通科(大津市)に入学した。薬物使用で今までに3回も高校の入学を繰り返しており、今回の入学が4回目。治療の結果、薬を使わずに楽しく生活できるようになったといい、「卒業したらきっと母さんが喜んでくれる」と4度目の正直に決意を固めている。



4回目の入学を果たし、「今度こそ卒業する」と勉強するユウキさん＝大津市丸の内町のびわこダルクで

【後藤直義、写真も】

薬物を始めたのは愛知県立高1年のころ。50

の仕事中にも使用。購入資金をつくるために「宝のシンナーを購入し、毎晩、友人らと公園や車内で吸い続けた。高校は「意味がないし、授業にもつ

手を出し、トラック運転資金をつくるために「宝物だった」オートバイ2台を売却、消費者金融から約90万円も借りた。07年に覚せい剤取締法違反

施設では14人の薬物依存症患者が共同生活する。学習スペースはわずか1畳程だが、治療プログラムを終える午後8、9時から毎日勉強する。1年目は国語、英語、数

「就職を」誓う28歳

「いけない」と退学。再入学した農業高校もシンナー吸引が発覚して退学処分になるなど、3回にわたり入退学を繰り返した。05年には、覚せい剤に容疑で逮捕・起訴され、執行猶予付き判決(確定)を受けた。07年7月に母の勧めで「びわこダルク」に入寮。自分自身も3度目の高校で卒業した猪瀬健夫施設話している。